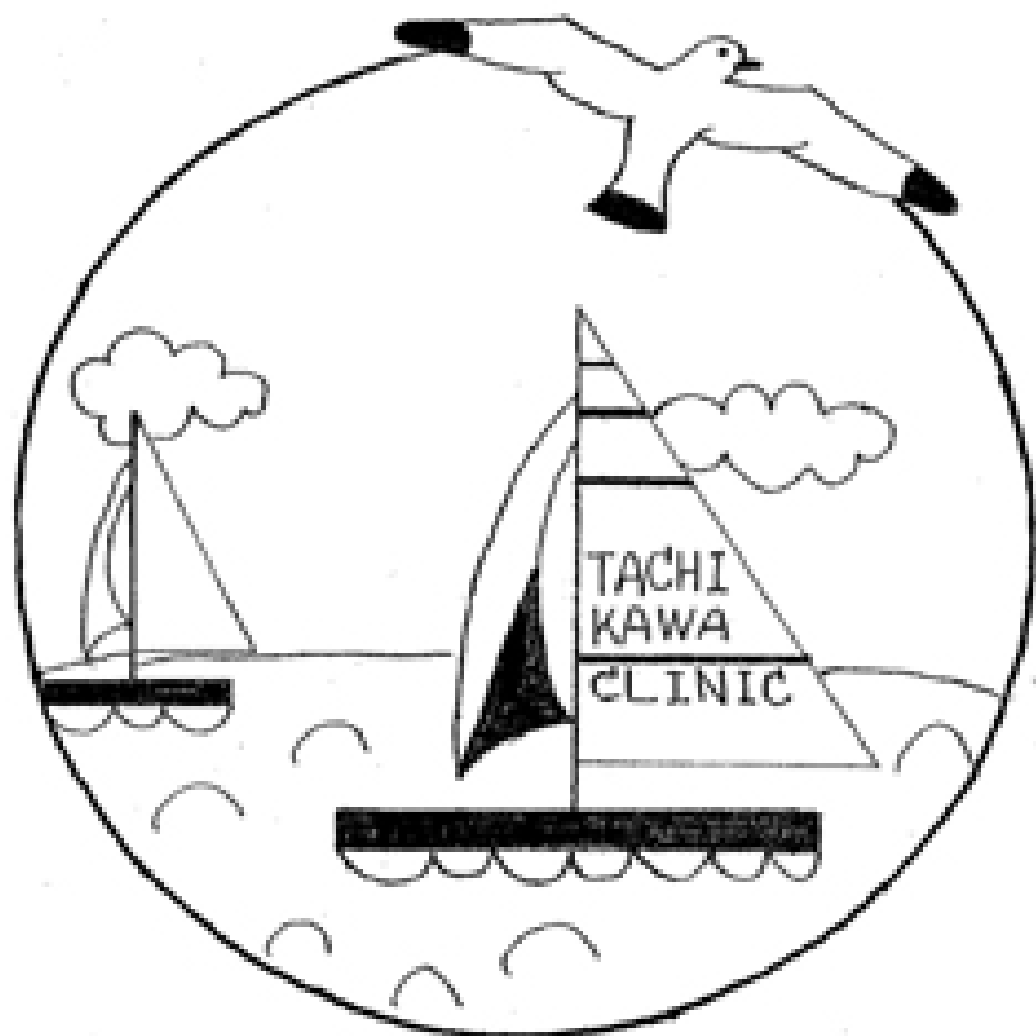


「とよ・たち」美肌通信
創刊号



2010年夏 ~ 豊郷から愛を込めて ~

皆様、はじめまして。

2010年8月4日に甲府宮市は関掘町、田原街道
バイパス沿いに「豊郷たちかわ皮膚科クリニック」を開業
致しました ^{たちかめのびいき} 乃川信幸 と申します。どうぞ宜しくお願い
致します。

突然ですが皆様は日常どれだけ“御自分の皮膚”
に自覚して生活されていますか？
例えば風呂上りに、裸の状態ではパンツを履いたと
します。最初は皮膚に、パンツが触れている感覚が
しっかりとあることでしょう。しかし、1〜2分後を考えて
みて下さい。既にパンツを着ていれば尚の事、
パンツを履いた直後のあの感覚は残っていない
ものと思います。実際日中、下着をつけている感覚は
ほぼ無いに等しいはずですが、しかしながら、あせもや
しん・皮膚炎等が下着の部位にあつたなら、
そこに当たっている下着の存在までもを感じながら
生活することになるのです。正にアトピー性皮膚炎に
代表される、炎症性皮膚疾患の多くの患者様は、
「ここに皮膚がある」という「皮膚の存在」を常に
感じながら日々生活されているのです。

しっしん・アトピー性皮膚炎・乾癬かんせん・じんましん・ニキビ
や水虫に至るまで皮膚に何らかのトラブルを持つ
患者様は、皮膚の存在を（無意識のうちに）意識せ
ずにはいろいろな状況に陥っています。

例えば「どうゆうことか」と言うと、乳幼児期から発
症しているアトピー性皮膚炎の患者様は、物心つい
た時から「皮膚の存在」を自覚することが当たり前
状況になっていて、本人にとっては「それが普通」
になっていると考えられます。つまり本来であれば
「皮膚の存在」は感じない方が理想なのです。

究極の理想は皮膚を感じない事。

これに一步でも近づける様。

—私の願いは—

- しっしんやアトピー性皮膚炎のお子様様が痒みを感じず、掻く事なく、皮膚を意識せずに生活でき、クッスリ眠れます様に。
- 乾癬かんせんの患者様が、これを理由に人前に出れない事が無い様に、生活の質(QOL)が低下しなせん様に、明るく笑顔で生活できます様に。

- ・ いままでの患者様の痒みや赤みが、一日も早く消滅
楽になれます様に。
- ・ ニキビやニキビ跡に悩む学生や若者が、うっかり
事なく、青春を謳歌できます様に。
- ・ 長年市販の水虫薬を使ってきた患者様や、
水虫は治らないと思っておられる患者様が、
適切な薬、適切な外用期間、適切な外用範
囲を知り、実践し一日も早く完治できます様に。

そのために私は学んできた全てを活かし、

「行ってみようか？」から「来てよかった!!」へと

変化して頂けるクリニック創りを目標に、

全身全霊を込めて豊郷の土地からエネルギー

をお届けして参りますので、皆様どうぞ

宜しくお原頁の申し上げます。

豊郷たちがわ皮膚科

クリニック

院長: 刀川信幸